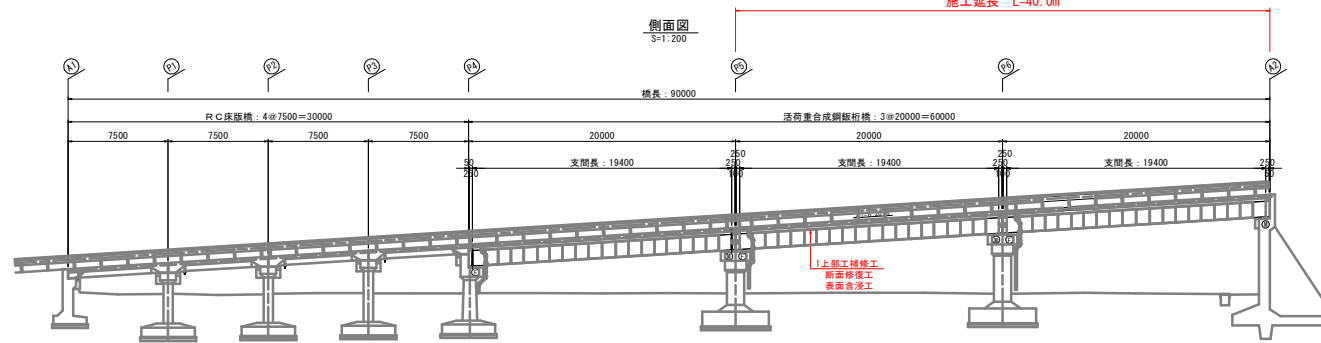


橋梁補修計画一般図

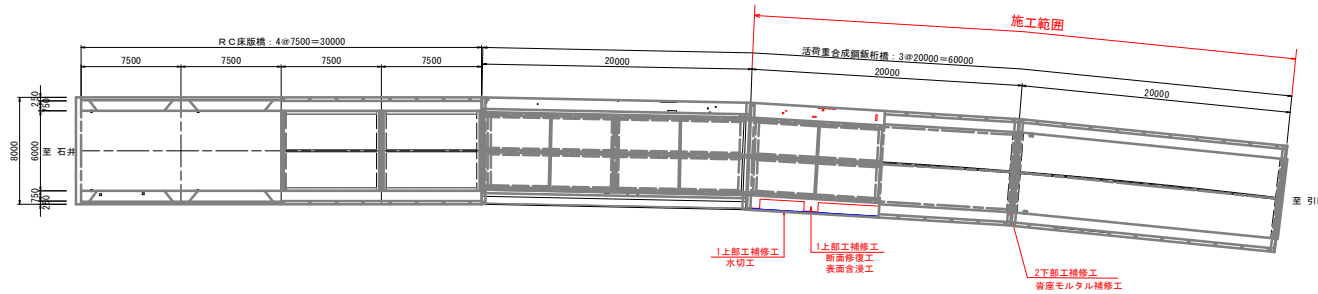
〔寛円高架橋〕

施工延長 L=40.0m

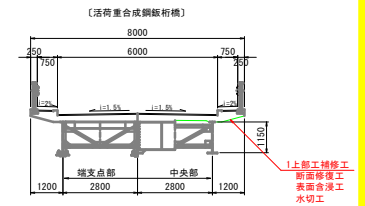
側面図
S=1:200



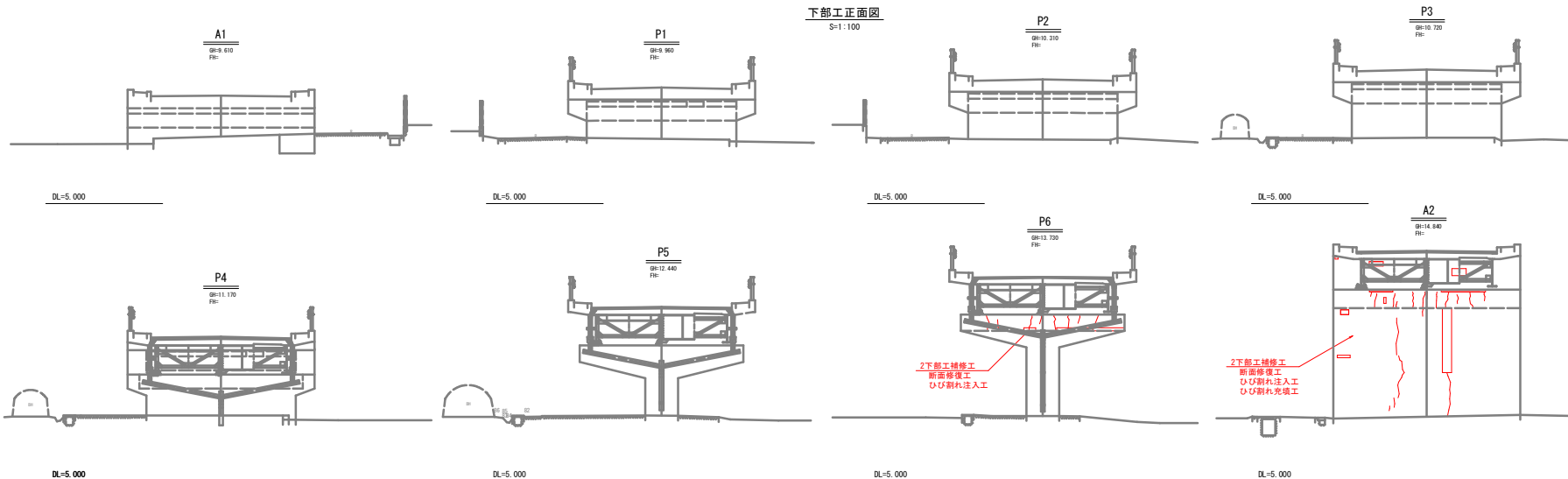
平面図
S=1:200



上部工標準断面図
S=1:100



下部工正面図
S=1:100



補修工種一覧

補修工種		補修材料	補修箇所
1上部工補修工	断面修復工	ポリマーセメントモルタル	床版下面
	表面含浸工	ケイ酸塩系表面含浸剤	
	水切工	既成品	
2下部工補修工	断面修復工	ポリマーセメントモルタル	P6・A2
	ひび割れ注入工	エポキシ樹脂	
	ひび割れ充填工	エポキシ樹脂	P6
	沓座モルタル補修工	無収縮モルタル	
7足場工	吊足場・枠組足場・単管足場		

実施設計図面

工事名	R8市土、石井引田線（寛円高架橋） 石、土、橋梁補修工事		
路線名等	（主）石井引田線（寛円高架橋）		
工事箇所	名古屋石井町区画		
図面名	橋梁補修計画一般図		
縮尺	1:150	図面番号	1 / 6
会社名			
事業名	徳島県吉野川県土整備事務所		

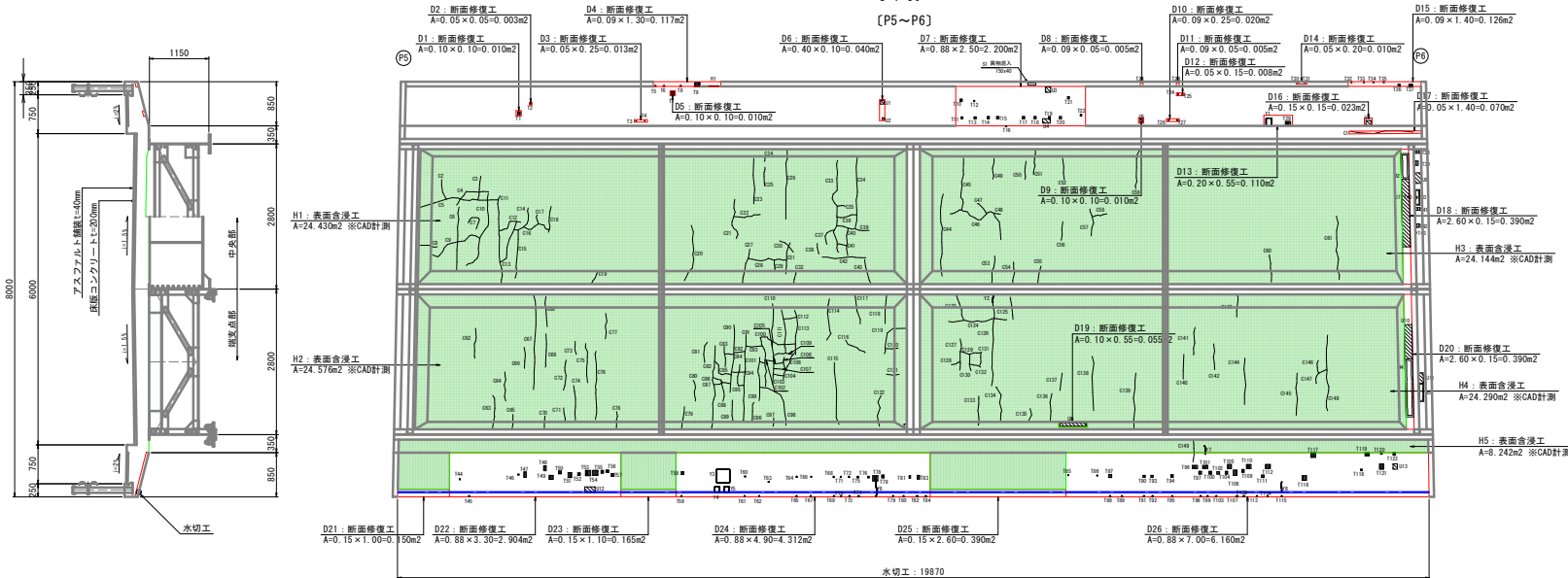
上部工補修計画図(1)

〔第6径間〕

床版下面平面図 ※上方からの鳥瞰図

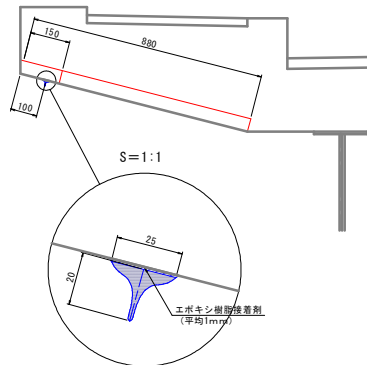
S=1:50

〔P5～P6〕



水切工(東側)詳細図

S=1:10



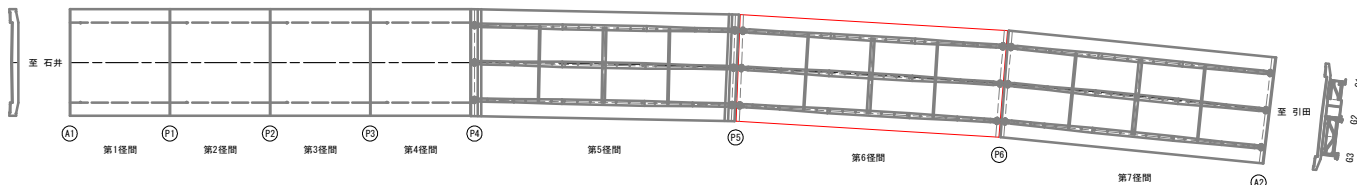
※接着剤数量: 1200g/m³×3×0.001m×0.025m×1.15×L=0.0345L

【施工手順(断面修復工)】

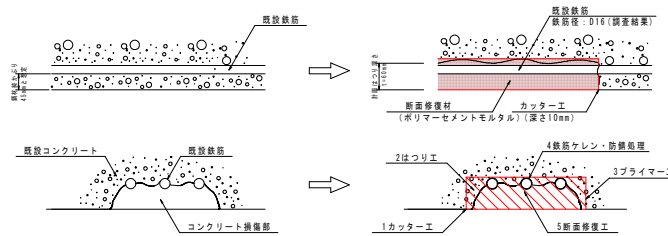
1. カッター
深さ10mm程度の切込みを入れる。
2. はつり工
はつり作業は健全なコンクリートへの影響を避けるため、ピックハンマ等により慎重に作業を行い、作業後には周辺部に浮きが生じていないことを確認する。
はつり範囲は原則として「計画図」に示す範囲とするが、劣化部が確認された場合は、状況に応じて範囲を拡げる。
3. 鉄筋ケレン・錆除去工(ケレン)
ワイヤーブラシ等を用いて鉄筋表面の錆を落とす。
4. 鉄筋防錆処理工
錆落としを行った鉄筋表面に刷毛を用いて鉄筋防錆材を塗布する。
5. 断面修復工(左官工法)
ポリマーセメントモルタルをコテ塗りし、当初形状に戻す。
※使用材料は監督員に確認の上決定する。
※1層あたりの施工厚さはモルタルの付着性、材料特性を考慮して設定する。(標準施工厚: 20~30mm)
※鉄筋の背面に空気を残さないよう注意する。
※修復後の鉄筋被りが少ない組立鉄筋等は、内側に折曲げて極力被り確保する。

補修対象部材

S=1:200



断面修復工 詳細図



コンクリートはつり工
注)鉄筋位置において内部鉄筋腐食が確認された場合は、腐食鉄筋のケレン作業が実施できる位置まではつりを行うこと。
※設計数量の算出は、鉄筋までの純かぶり45mm程度、主鉄筋径をD16と想定して60mmで設定している。

表面含浸工 詳細図

ケイ酸塩系表面含浸工



工程	使用材料	標準塗布量	塗布方法
下地処理	-	-	サンダーケレン等
1回塗り	ケイ酸塩系 表面含浸材 (1液性)	0.20kg/m ²	刷毛 ローラー刷毛

施工フロー

1. 下地処理工
塗布面に付着している・ほこり等を除去。
A=2.60×0.15=0.390m²
2. 表面含水率の測定
コンクリートの表面含水率を測定し、8%以下であることを確認してから作業を行う。
3. 塗布・含浸工
標準塗布量(0.20kg/m²)を1回塗布。
4. 養生工
塗布完了後40時間は、塗布面が直接雨等にさらされないように養生。

補修数量表(表面含浸工)

第6径間 (P5～P6)	
補修箇所	補修断面面積(m ²) ※CAD計測
H 1	24.430
H 2	24.576
H 3	24.144
H 4	24.290
H 5	8.242
表面含浸工面積: A=105.682m ²	

補修数量表(断面修復工)

第6径間 (P5～P6)					
補修箇所	補修断面形状 (m)	補修断面積 (m ²)	補修箇所	補修断面形状 (m)	補修断面積 (m ²)
D 1	0.10×0.10	0.010	D16	0.15×0.15	0.023
D 2	0.05×0.05	0.003	D17	0.05×1.40	0.070
D 3	0.05×0.25	0.013	D18	2.60×0.15	0.390
D 4	0.09×1.30	0.117	D19	0.10×0.55	0.055
D 5	0.10×0.10	0.010	D20	2.60×0.15	0.390
D 6	0.40×0.10	0.040	D21	0.15×1.00	0.150
D 7	0.88×2.50	2.200	D22	0.88×3.30	2.904
D 8	0.09×0.05	0.005	D23	0.15×1.10	0.165
D 9	0.10×0.10	0.010	D24	0.88×4.90	4.312
D10	0.09×0.25	0.020	D25	0.15×2.60	0.390
D11	0.09×0.05	0.005	D26	0.08×7.00	0.560
D12	0.05×0.15	0.008			
D13	0.20×0.55	0.110			
D14	0.05×0.20	0.010			
D15	0.09×1.40	0.126			
		2.687			15.009
断面修復工面積			A=17.696m ²		
断面修復工体積			W= 1.062m ³		
※断面修復厚60mmと設定					

実施設計図面

工事名	石井引田線(寛平高架橋)石・鉄部 橋梁補修工事
路線名等	(主) 石井引田線(寛平高架橋)
工事箇所	名倉郡石井町星田
図面名	上部工補修計画図(1)
縮尺	図示 図面番号 2 / 6
会社名	
事業名	徳島県吉野川県土整備事務所

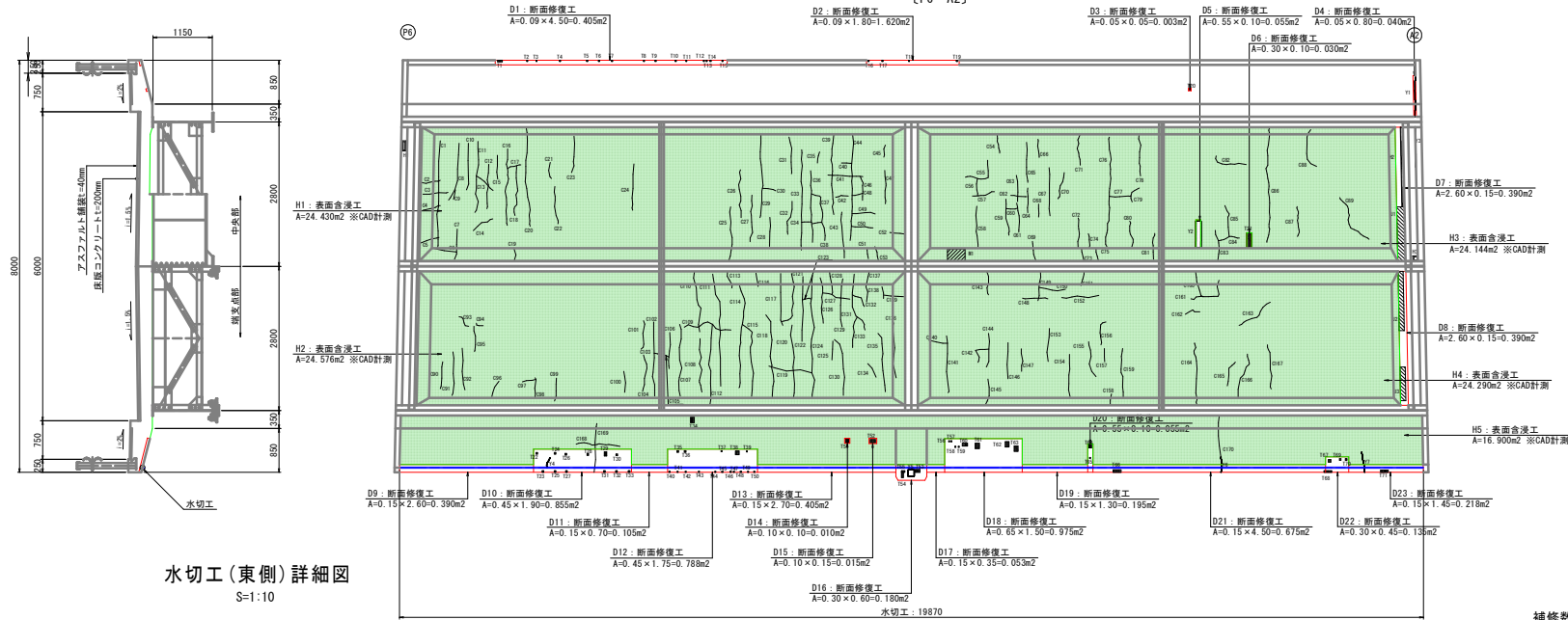
上部工補修計画図(2)

〔第7区間〕

床版下面平面図 ※上方からの鳥瞰図

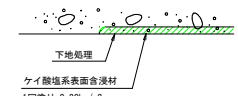
S=1:50

〔P6～A2〕



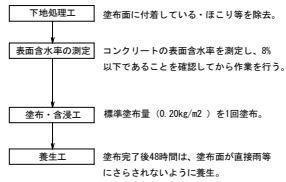
表面含浸工 詳細図

ケイ酸塩系表面含浸工



工程	使用材料	標準塗布量	塗布方法
下地処理	-	-	サンダーケレン等
1回塗り	ケイ酸塩系 表面含浸材 (1液性)	0.20kg/m ²	刷毛 ローラー刷毛

施工フロー



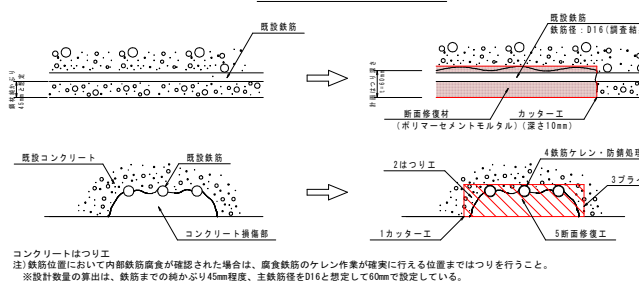
補修数量表 (表面含浸工)

第7区間 (P6～A2)	
補修箇所	補修断面積 (m ²) ※CAD計測
H 1	24.430
H 2	24.576
H 4	24.290
H 5	16.900
表面含浸工面積: A=114.340m ²	

補修数量表 (断面修復工)

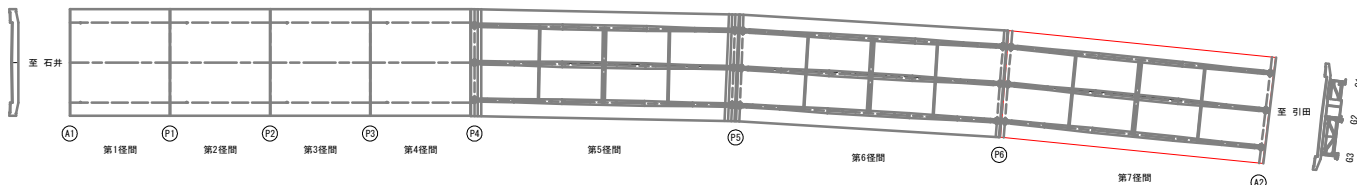
第7区間 (P6～A2)					
補修箇所	補修断面形状 (m)	補修断面積 (m ²)	補修箇所	補修断面形状 (m)	補修断面積 (m ²)
D 1	0.09 × 4.50	0.405	D13	0.15 × 2.70	0.405
D 2	0.09 × 1.80	0.162	D14	0.10 × 0.10	0.010
D 3	0.05 × 0.05	0.003	D15	0.10 × 0.15	0.015
D 4	0.05 × 0.80	0.040	D16	0.30 × 0.60	0.180
D 5	0.55 × 0.10	0.055	D17	0.15 × 0.35	0.053
D 6	0.30 × 0.10	0.030	D18	0.45 × 1.50	0.675
D 7	2.60 × 0.15	0.390	D19	0.15 × 1.30	0.195
D 8	2.60 × 0.15	0.390	D20	0.55 × 0.10	0.055
D 9	0.15 × 2.60	0.390	D21	0.15 × 4.50	0.675
D10	0.45 × 1.90	0.855	D22	0.30 × 0.45	0.135
D11	0.15 × 0.70	0.105	D23	0.15 × 1.45	0.218
D12	0.45 × 1.75	0.788			
		5.071			2.916
断面修復工面積 A=7.987m ²					
断面修復工体積 V=0.479m ³					
※断面修復厚60mmと設定					

断面修復工 詳細図



補修対象部材

S=1:200



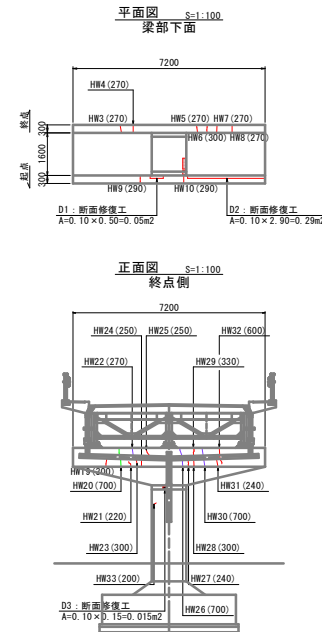
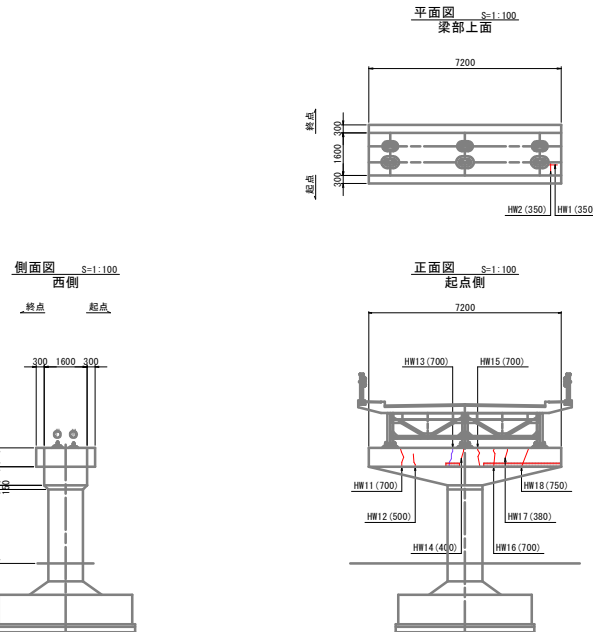
実施設計図面

工事名	石井引田線 (愛宕高架構) 石・鉄筋 橋梁補修工事
路線名等	(主) 石井引田線 (愛宕高架構)
工事箇所	名西郡石井町豊田
図面名	上部工補修計画図(2)
縮尺	図示 図面番号 3 / 6
会社名	
事業名	徳島県吉野川県土整備事務所

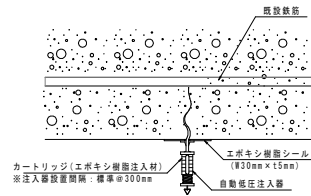
下部工補修計画図(1)

[P6橋脚]

P6橋脚
S=1:100



ひびわれ注入工 詳細図



※ひび割れ深さ(想定)
h=100mm
橋脚・縁端抵幅部は100mmで想定

注入量Vは下式より算出する。
 $V=1200 \times b \times h \times L \times 1.15$
 $=1200 \times (b/1000) \times 0.1 \times L \times 1.15$
 $=0.138 \times b \times L$

ここに、
V : 注入量 (kg)
1200 : エポキシ樹脂系注入材比重 (kg/m³)
h : ひびわれ深さ (上記参照)
b : ひびわれ幅 (mm)
L : ひびわれ延長 (m)
1.15 : ロス率

施工フロー



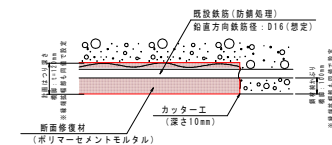
補修数量表－１（ひびわれ注入工）

ひびわれ幅: 0.20					
補修部位	番号	延長L (m)	補修部位	番号	延長L (m)
P6橋脚	HW1	0.35	P6橋脚	HW8	0.27
	HW2	0.35		HW9	0.29
	HW3	0.27		HW10	0.29
	HW4	0.27		HW11	0.70
	HW5	0.27		HW12	0.50
	HW6	0.30		HW14	0.40
	HW7	0.27		HW15	0.70
小 計	7箇所	2.08	小 計	7箇所	3.15
ひびわれ幅: 0.30					
補修部位	番号	延長L (m)	補修部位	番号	延長L (m)
P6橋脚	HW16	0.70	P6橋脚	HW23	0.30
	HW17	0.38		HW24	0.25
	HW18	0.75		HW25	0.25
	HW19	0.30		HW26	0.70
	HW20	0.70		HW27	0.24
	HW21	0.22		HW28	0.30
	HW22	0.30		HW29	0.33
小 計	7箇所	2.90	小 計	7箇所	2.16
合 計	28箇所	10.29			

ひびわれ幅: 0.30		
補修部位	番号	延長L (m)
P6橋脚	HW13	0.70
	HW22	0.27
	HW26	0.70
	HW30	0.70
合 計	4箇所	2.37

ひびわれ幅: 0.40		
補修部位	番号	延長L (m)
P6橋脚	HW20	0.70
合 計	1箇所	0.70

断面修復工 詳細図



補修数量表－２（断面修復工）

A6橋脚			
補修箇所	補修断面形状 (m)	補修断面積 (m ²)	
D 1	0.10×0.50	0.050	
D 2	0.10×2.90	0.290	
D 3	0.10×0.15	0.015	
D 4	0.15×0.15	0.023	
D 5	0.40×0.40	0.160	
合計	断面修復工面積	A=0.538m ²	
	断面修復工体積	V=0.065m ³	

※断面修復厚 橋脚・縁端抵幅部 : 120mmと設定

注記

- 断面修復範囲について
上記図面の範囲を基本とするが、それ以外の箇所においても、コンクリートの劣化が認められる箇所は、同様に劣化部を除去したうえで断面修復を行うこと。
- はつり深さについて
鉄筋位置において内部鉄筋腐食が確認された場合は、腐食鉄筋のケレン作業が確実に行える位置まではつりを行うこと。
※設計数量の算出は、橋脚は鉄筋までの純かぶり100mm程度、鉛直方向鉄筋径をD16と想定して120mmとしており、縁端抵幅部も同値で設定している。

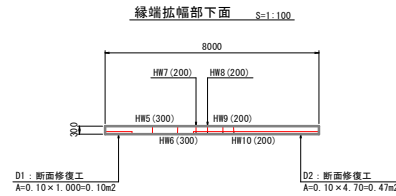
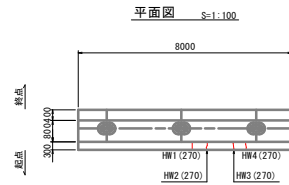
実施設計図面

工事名	R8市土 石井列田線（寛円高架橋） 石・崖側 橋梁補修工事		
路線名等	（主）石井列田線（寛円高架橋）		
工事箇所	名古屋石井町駅側		
図面名			
縮尺	図 示	図面番号	4 / 6
会社名			
事業名	徳島県吉野川県土整備事務所		

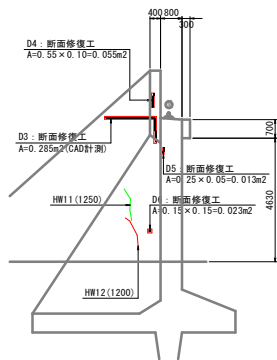
下部工補修計画図(2)

〔A2橋台〕

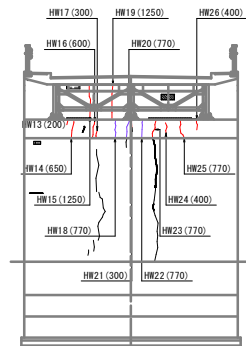
A2橋台
S=1:100



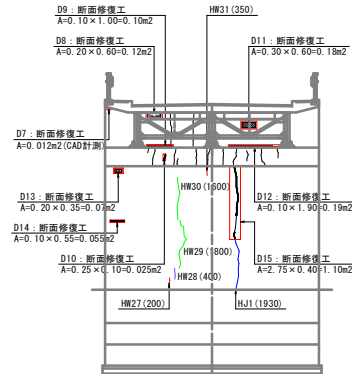
側面図
西側
S=1:100



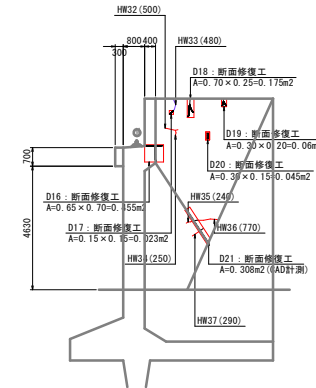
正面図
ひび割れ補修計画部
S=1:100



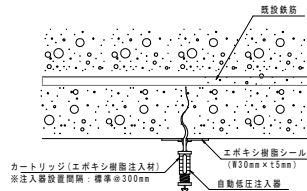
正面図
断面修復工・堅壁ひび割れ補修計画部
S=1:100



側面図
東側
S=1:100



ひびわれ注入工 詳細図

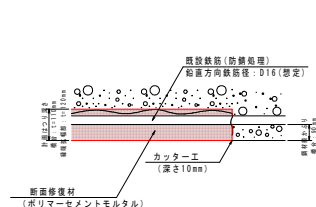
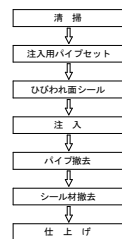


※ひび割れ深さ(想定)
堅壁・胸壁・翼壁: h=90mmで想定
縁端拡幅部: h=100mmで想定

注入量Vは下式より算出する。
V (概算) = $1200 \times b \times h \times L \times 1.15$
= $1200 \times (b/1000) \times 0.09 \times L \times 1.15$
= $0.1242 \times b \times L$
V (縁端拡幅部) = $1200 \times b \times h \times L \times 1.15$
= $1200 \times (b/1000) \times 0.10 \times L \times 1.15$
= $0.138 \times b \times L$

ここに、
V : 注入量(kg)
1200 : エポキシ樹脂系注入材比重(kg/m³)
h : ひびわれ深さ(上記参考)
b : ひびわれ幅(mm)
L : ひびわれ延長(m)
1.15 : ロス率

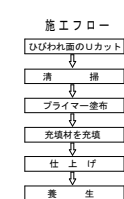
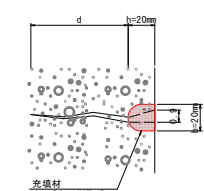
施工フロー



断面修復工 詳細図

〔注記〕
1. 断面修復範囲について
上記図面の範囲を基本とするが、それ以外の箇所においても、コンクリートの劣化が認められる箇所は、同様に劣化部を除去したうえで断面修復を行うこと。
2. はつり深さについて
鉄筋位置において内部鉄筋腐食が確認された場合は、腐食鉄筋のケレン作業が確実にできる位置まではつりを行うこと。
※設計数量の算出は、橋台は鉄筋までの純かぶり90mm程度、鉛直方向鉄筋径をD16と想定して110mmとしており、縁端拡幅部は橋脚部のはつり厚を参照して、120mmの同値で設定している。

ひび割れ充填工 詳細図



補修数量表-1 (ひびわれ注入工)

ひびわれ幅: 0.20									
補修部位	番号	延長L (m)	補修部位	番号	延長L (m)	補修部位	番号	延長L (m)	補修部位
A2橋台	HW1	0.27	A2橋台	HW9	0.20	A2橋台	HW19	1.25	A2橋台
	HW2	0.27		HW10	0.20		HW21	0.30	
	HW3	0.27		HW12	1.20		HW23	0.77	
	HW4	0.27		HW13	0.20		HW24	0.40	
	HW5	0.30		HW14	0.65		HW25	0.77	
	HW6	0.30		HW15	1.25		HW26	0.40	
	HW7	0.20		HW16	0.60		HW27	0.20	
	HW8	0.20		HW17	0.30		HW31	0.35	
小計	8箇所	2.08	小計	8箇所	4.60	小計	8箇所	4.44	小計
						合計	29箇所	13.17	

ひびわれ幅: 0.30		
補修部位	番号	延長L (m)
A2橋台	HW18	0.77
	HW20	0.77
	HW22	0.77
	HW26	0.40
合計	5箇所	3.19

ひびわれ幅: 0.40		
補修部位	番号	延長L (m)
合計	HW11	1.25
	HW29	1.80
	HW30	1.60
合計	3箇所	4.65

補修数量表-2 (断面修復工)

A2橋台（縁端拡幅部）			A2橋台（堅壁・胸壁・翼壁）		
補修箇所	補修断面形状 (m)	補修断面面積 (m ²)	補修箇所	補修断面形状 (m)	補修断面面積 (m ²)
D 1	0.10×1.00	0.100	D 3	CAD計測	0.285
D 2	0.10×4.70	0.470	D 4	0.95×0.10	0.095
			D 5	0.25×0.05	0.013
			D 6	0.15×0.15	0.023
			D 7	CAD計測	0.012
			D 8	0.20×0.60	0.120
			D 9	0.10×1.00	0.100
			D 10	0.25×0.10	0.025
			D 11	0.30×0.60	0.180
			D 12	0.10×1.90	0.190
小計 断面修復工面積 A= 1.003m ²			小計 断面修復工面積 A= 2.291m ²		
合計 断面修復工面積 A= 0.570m ²			合計 断面修復工面積 A= 3.294m ²		
断面修復工体積 W= 0.570×0.12+3.294×0.11= 0.431m ³			断面修復工体積 W= 0.570×0.12+3.294×0.11= 0.431m ³		
※断面修復厚 縁端拡幅部: 120mmと設定			※断面修復厚 縁端拡幅部: 120mmと設定		
橋台: 110mmと設定			橋台: 110mmと設定		

補修数量表-3 (ひびわれ充填工)

補修部位	幅b (mm)	延長L (m)	規格	使用材料区分	標準設計量
HJ 1	0.9	1.93	エポキシ樹脂系	プライマー	0.15kg/m ²
ひびわれ充填工延長 合計 L=1.93m				ポリマーセメント系	1800kg/m ³
				エポキシ樹脂系	1700kg/m ³

プライマーおよび充填材の標準設計量は上表のとおりとする。

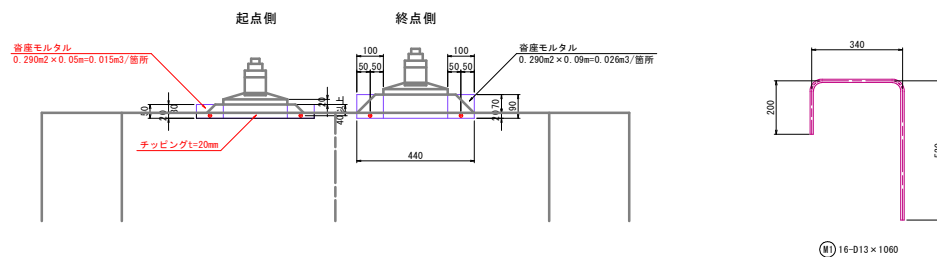
実施設計図面

工事名	R8西土 石井引田線 (愛宕高架橋) 石・崖側 橋梁補修工事		
路線名等	(主) 石井引田線 (愛宕高架橋)		
工事箇所	名西郡石井町豊畑		
図面名	下部工補修計画図(2)		
縮尺	図示	図面番号	5 / 6
会社名			
事業者名	徳島県吉野川県土整備事務所		

下部工補修計画図(3)

沓座モルタル補修工

S=1:10



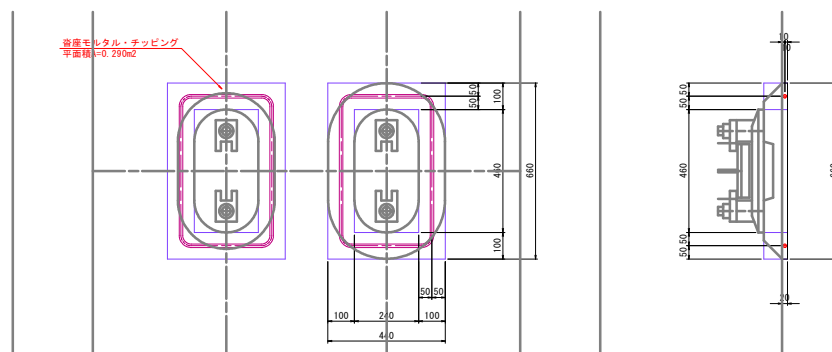
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り 質量(kg)	質量 (kg)	摘要
M1	D13	1060	4	0.995	1.055	4.22	□
合計						D13 4.2kg	
総質量						4.2kg	

沓座モルタル用型枠数量一覧表

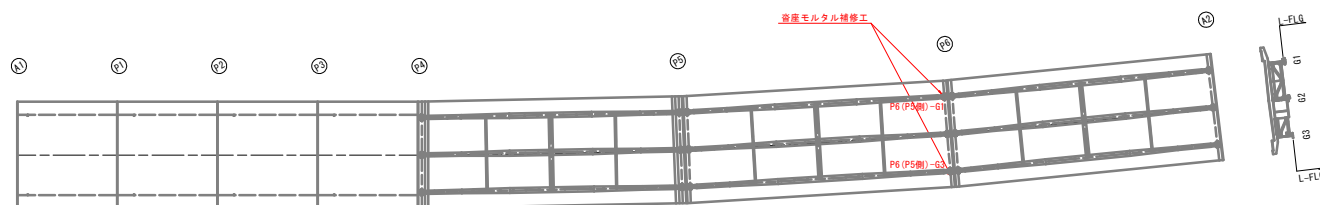
算定式		型枠数量
起点側	$A = (0.66 + 0.44) \times 2 \times 0.03 \times 2$	0.132m ²
		0.132m ²

※現地計測後に部材作成を行うこと



補修対象部材

S=1:200



実施設計図面

工事名	R8宮土 石井引田線（寛門高菜橋） 土・瓦組 橋架補修工事		
路線名等	（主）石井引田線（寛門高菜橋）		
工事箇所	名西郡石井町瓦組		
図面名	下部工補修計画図(3)		
縮尺	図 示	図面番号	6 / 6
会社名			
事業者名	徳島県吉野川土壌浄化事務所		